

SBR農産物、トルコ

WET-2センサーを用いた栽培条件・果実収量・ 果実品質の最適化



使用されているDelta-T製品:

WETキット - マルチパラメーターWET-2センサー(水分、温度、EC)とHH2読み取りメーターが含まれています。

SBR - トルコの手果物生産者

SBRアグリカルチュラルプロダクツ(SBR)は1990年に設立され、トルコのメルスィン・シリフケ地域で事業を展開しています。



この会社は、最先端技術を用いて、果物、特にベリー類の栽培を専門としています。栽培施設は大規模で、40万平方メートルのイチゴ水耕栽培温室と、それぞれ5万平方メートルのラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリーの生産エリアを有しています。

SBRにおけるWETセンサーの活用

SBRのスタッフは、2018年からDelta-TのWETキットを使用して、イチゴの水耕栽培における生産管理に役立てています。植物の根の周りの水の水分と間隙EC(電気伝導率)を毎日数回測定し、重要な測定を行っています。

これらの測定値は、作物管理者が施肥灌漑を微調整するために使用され、各作物に最適な水分と栄養分レベルを維持しています。



非常にポータブルで頑丈なWETキットには、WET-2 センサー、HH2水分計読み取りユニット、およびキャリー ケースが含まれています。



WETキットを使用すると、SBR温室管理者は、農場内の複数の場所で基質水分、間隙水EC、温度を正確かつ迅速に測定できます。

これらの即時表示される測定値は、日付と時刻のスタンプとともにHH2メーターに保存され、後でアーカイブおよび分析のためにExcelにアップロードできます。



このプロセスのスピードと正確さは重要であり、特に保護された環境で培地栽培されるベリー類の場合、その重要性は増します。培地の状態に問題が発生した場合、温室管理者が対応措置を講じる「タイムリーな」時間は非常に短くなる可能性があります。生育条件が最適でないと、ベリーのサイズと品質は数時間で劣化する可能性があります。

WETキットは重要な改善ツールであるだけでなく、SBRスタッフは各温室の日々の、さらには季節ごとの生育傾向を把握できるため、作物管理と意思決定の改善につながります。

WETキットデータを使用することで得られる全体的な効果は、不要な水(揚水)コスト、高価な肥料の使用、廃棄物、流出を削減し、同時に作物の収量と果実の品質を向上させることです。

SBRのスタッフは、栽培する他の農産物の生育条件を最適化するために、土壌にWET-2センサーを使用しています。



SBRのメフメット・オズメン氏は次のように述べています。

「WET-2センサーを使い始めて以来、非常に満足しています。このセンサーが生成するデータにより、灌漑に関する意思決定に真の自信を持つことができます。」

センサーと読み取りユニットは持ち運び可能なので、作物の検査に持ち運ぶことができます。また、複数の校正機能により、培地の種類に関わらず、常に信頼性の高い測定値を得ることができます。

私たちは毎日複数回の測定値を取得しており、WET-2センサーが提供するEC値と水分値により、理想的な土壌と基質の状態を実現するために、灌漑と施肥量を調整します。

適切な時期(そして適切な量)に水と肥料を与えることで、高い果実品質と収量を確保することができます。」

